

ダウン症の書家 日進で作品展示

きょうトークショー

日進市折戸町の障害者生活介護事業所「ハーモニー」の完成を記念し、24日、書家として活躍するダウン症の金沢翔子さん(32)＝東京都大田区＝の書道展と現代国際絵画展などが始まった。25日午後1時から近くの市立梨の木小学校で、金沢さんの書道パフォーマンスとトークショー(協力金500円)がある。

ハーモニーは今年4月に開所した。20人の重い障害を持つ人たちが通い、再生



紙を利用した和紙やアクリルたわし、ぞうきんなどをつくって販売している。

金沢さんは生まれてすぐにダウン症と診断された。5歳の時から母の泰子さん

に書道を習った。全国で個展を開いたり、パフォーマンスを披露したりしているほか、NHKの大河ドラマ「平清盛」の題字も手がけた。

会場には、金沢さんが力強い筆さばきで書いた作品約30点のほか、施設の障害者の絵画作品15点とシャガール、ピカソらの版画約110点なども展示されている。26日まで。入場無料。